

令和5年度第1回宇治市国民健康保険運営協議会議事録（要旨）

令和5年11月16日（木）14:00～15:23

宇治市産業会館 1階 多目的ホール

（出席）宮本会長、森下副会長、池本委員、鈴木委員、関戸委員、山本委員、吉田委員、堀委員、井上委員、高木委員、山田委員、蘆田委員

星川部長、須原副部長、佐藤課長、田口課長、山口副課長、渡邊係長、北係長、中川係長、杉山主任

（欠席）尾島委員、末吉委員、牧野委員、三好委員、川野委員、北村委員、玉井委員

（傍聴者）0名

（報道関係）0名

1. 開会

須原副部長）本日は皆様ご多忙のところ、ご出席いただきましてありがとうございます。

ただ今より「令和5年度第1回宇治市国民健康保険運営協議会」を開催させていただきます。本日の議事に至りますまでの間、会議の進行を務めさせていただきます、健康長寿部副部長の須原と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

なお、本日の会議は、「宇治市国民健康保険運営協議会の会議の公開に関する要項」に基づきまして、公開の取り扱いとしておりますので、最初に皆様にご報告申し上げます。

- ・星川部長より挨拶
- ・事務局より、配付資料の確認
- ・事務局より、会議の成立確認報告
- ・事務局より、令和5年度事務局の紹介

須原副部長）それでは、続きまして、次第の2、宮本会長よりご挨拶をちょうだいしたいと存じます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

2. 会長挨拶

会 長）宇治市の国民健康保険事業について、協議会としての意見がまとめられるように、各委員の皆様の皆様のご理解とご協力を賜りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

3. 議事

(1) 会議の運営について

①会議録署名人の選出について

会 長) それでは、本日の次第に沿いまして進めさせていただきます。会議録署名人の選出について、事務局からご説明をお願いします。

- ・事務局より会議録署名人の選出について説明

会 長) ありがとうございます。ご異議等はございませんでしょうか。特にございませんでしたら、会議録の署名人につきましては、被保険者代表の鈴木委員、公益代表の山田委員をお願いをさせていただきたいと思います。

(2) 宇治市国民健康保険事業について

- ・事務局より、資料2「宇治市国民健康保険事業について」に基づき説明

会 長) この件について、ご意見ご質問があればお願いします。

委 員) 資料3ページにある「滞納繰越分」とは、何ですか。

事務局) 資料3の3ページをごらんください。国民健康保険料の歳入、現年分が30億8724万8000円でございます。この下に滞納繰越分というのがございまして、1億1583万2000円でございます。京都地方税機構に移管させていただいて、ある程度専門的知識を持った職員が滞納整理に当たっており、成果が出ているところかと思えます。

会 長) よろしいでしょうか。次の議題に移ります。

(3) 令和4年度国民健康保険事業特別会計決算について

- ・事務局より、資料3「令和4年度国民健康保険事業特別会計決算について」に基づき説明

会 長) 説明について何かご意見ご質問はございますか。今年5月にコロナが5類になりましたけども、医療は大きく変わっているのでしょうか。

委 員) 5類になったからといって、変わらない印象です。

委員) インフルエンザと同じ感覚になられた、気が緩んだのかなと感じます。一方、患者さんの数が増えたとも感じます。コロナの治療薬が、10月から自己負担額が3割負担の方で9000円になりました。

委員) 歯科に関しては、だいぶ戻ってはきましたが、まだ、受診控えを感じています。

会長) 今後の予測が難しいなか、来年度の保険料率を算定しなければならないということで、なかなか悩ましい。

委員) 風邪薬が不足していると聞いたが、実際はどうですか。

委員) そのとおりです。患者さんへの説明など、薬局に負担がかかっています。

委員) なぜ、お薬が不足しているのでしょうか。ジェネリック医薬品の不正があったことも関係しているのでしょうか。

委員) それが引き金になったのではないかと思います。

委員) 以前のように薬が供給されるようになれば、保険の支払いが増えてくるのでしょうか。

委員) 保険の支払いは増えてくると思います。コロナの治療薬が、10万円もする。本来の3割負担だったら、いくらになりますか。国が負担しているわけですね。個々人が病気に気を付けないと、国の負担がどんどん増えていく。また、医療の進歩、薬の開発で、その分、医療費が増えていく。宇治市でも、人口が減っても保険料が落ちないっていうのは、こういうことなんです。

会長) 保健事業で1億円の歳出とありますが、具体的にどのような事業を充実させたのでしょうか。

事務局) まず、1億円全てが保健事業の拡充に充てられたということではありませんのでご了承ください。重症化予防としまして、糖尿病性腎症になりますと透析になり、QOLをかなり妨げることもございます。ハイリスク者の方に対し、医療機関、医師会先生と連携して取り組んでおります。また、特定健康診査、人間ドックは、1年に1回、自分の健康を知ってもらう大変重要なものがございます。特定健康診査は、がん検診とあわせまして、国民健康保険被保険者の方に対して、受診勧奨を通知し、受診率向上に努め

てきたところでございます。人間ドックは、定員を1700人から2000人に、脳ドックは、定員を800人から1400人に拡充し、希望者が全員受けられるようにしております。

会 長) 健康であること、病気を早めに発見することは、結果的に医療費の削減につながると思います。

(4) その他について

・事務局より、資料4「産前産後期間における国民健康保険料の減額措置について」に基づき説明

委 員) 10月の出産は対象になりませんか。

事務局) 対象にはなりません。

・事務局より、今後の日程について説明

会 長) 今後、京都府より標準保険料率の提示があつて、それも踏まえて協議をしていくこととなりますので、各委員、ご予定をお願いいたします。ご意見等がないようでしたら、第1回宇治市国民健康保険運営協議会を閉会とさせていただきます。本日はありがとうございました。

(閉会)

会議録署名人
